

食育推進だより（毎月発行）

【目次】

- 1 4月の取組（予定）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1ページ
 「健康フェア ～食育と健康のつどい～」を4月から実施します
 4月の「消費者の部屋特別展示」（農林水産省内）のご案内
 4月のごはんSAIJIKI
 テレビ番組「小倉智昭・柴田理恵のいまだき！ごはん」絶賛放送中！
 東海農政局「消費者の部屋」で特別セミナー『知って得する食品表示』を開催（4月12日、18日）
 安城市で「うまいじゃん！碧海発「食」と「農」の交流会」を開催（4月16日）
 岐阜県高山市で「コープぎふ5周年フェスティバル『まるごと体感！コープぎふ』」を開催（4月3日）
 熊本県菊池市で「養生園祭」開催（4月17日）
- 2 3月の実績・・ 5ページ
 きのこ料理コンクール第18回全国大会を開催
 「平成16年度農林水産情報交流モニター等交流会」を開催（3月24日）
 北海道で小学生向け食育読本「いただきます！ほっかいどう」を作成（3月24日）
 東北農政局で平成16年度「食育」活動表彰審査会を開催（3月7日）
 平成16年度東北ブロック食料品消費モニター懇談会を開催（3月9日～10日）
 八戸市で「三八地方食の安全・安心等に関する懇談会」を開催（3月11日）
 弘前市で「顔の見える関係づくり・食を考える懇談会」を開催（3月15日）
 宮城県古川市で「第3回食の安全・安心ミニ懇談会」を開催（3月16日）
 福島市で「第2回食の安全・安心に関する意見交換会」を開催（3月17日）
 東北農政局で東北地域食育推進協議会第2回義務教育部会を開催（3月17日）
 東北農政局で第3回東北地域食の安全・安心推進連絡会議を開催（3月24日）
 東北農政局で第4回「食の安全・安心に関する意見交換会」を開催（3月29日）
 東北農政局で第4回東北地域食育推進協議会を開催（3月30日）
 関東農政局で関東地域食育推進協議会を開催（3月7日）
 水戸市で「食の栄養と食育を考えるフォーラム」を開催（3月14日）
 栃木県で「第2回栃木県食育推進協議会」を開催（3月14日）
 群馬農政事務所で市民講座を開催（3月2日）
 群馬県で「食品安全語部の会」を開催（3月17日）
 埼玉県行田市で「移動お米インフォメーションプラザ」を開催（3月13日）
 千葉農政事務所で「米粉普及推進に向けた講演及び懇談会」を開催（3月15日）
 千葉農政事務所で「消費者懇談会」を開催（3月16日）
 お米ギャラリー銀座で春休み「お米教室」に参加（3月29、30日）
 山梨農政事務所で「親子料理教室」を開催（3月12日）
 長野農政事務所で「食卓から生産地まで顔の見える関係づくりシンポジウム」を開催（3月3日）
 「ほくろく消費者ネット」による意見交換会を開催（3月2日）
 「食と農を考えるシンポジウム」を開催（3月5日）
 ごはんを中心とした「日本型食生活」を推進する後援会を開催（3月16日）
 「北陸地域食育推進協議会」を開催（3月29日）
 岐阜農政事務所で「食育地域座談会」を開催（3月1日～）
 愛知県豊川市で『食と健康フォーラム』“あなたの「食べる」を考えよう”を開催（3月5日）
 河内長野市で「河内長野市生活情報展」を開催（3月4～5日）
 鳥取県西部地区「食品表示ウォッチャー」研修会を開催（3月1日）
 松江市で「島根食育推進協議会」を開催（3月17日）
 出雲市で「島根県栄養士会行政栄養士協議会研修会」を開催（3月19日）
 高松公民館で「食と環境フェア」を開催（3月27日）
 広島県三次市で「学校給食シンポジウム」を開催（3月15日）
 山口県で米粉パン作り講習会を開催（3月15日）
 山口市で学校給食の地産地消研修会開催（3月8日）
 徳島農政事務所が「食育推進意見交換会」を開催（3月1日）
 高松市で「地域の食材を使った料理教室」を開催（3月5日）
 高知農政事務所で市民講座を開催（3月9日）
 平成16年度第2回九州地域食育推進協議会を開催（3月17日）
 熊本市で「トレーサビリティに関する意見交換会」を開催（3月9日）
 佐賀市で食品安全シンポジウムを開催（3月19日）
- 3 食に関する諸調査・データ・トピック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15ページ
 100%近くが食育必要～共同通信「だんだんたんぼ」アンケートより～

平成17年4月1日
 農林水産省消費・安全局

【お問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局消費者情報官付食育推進班

TEL: 03 - 3502 - 8111 (内3342)

03 - 3502 - 5723 (ダイヤルイン)

食育推進だよりに掲載を希望される取組や、食育の推進に関し、ご質問、ご意見・ご提案等がありましたら、積極的にご連絡下さい。

1 4月の取組（予定）

「健康フェア ～食育と健康のつどい～」を4月から実施します

毎週月曜日から金曜日の8:35～10:00の時間帯、NHK総合テレビジョン「生活ほっとモーニング」の番組中で、おおむね月に一回その様子が紹介されているNHK健康フェアについては、平成17年4月から、“食と健康”に焦点をあてた「健康フェア ～食育と健康のつどい～」としてスタートします。このイベントは、全国各地を訪ねて開催され、年12回の開催が予定されています。

会場ステージでは、新企画として「あなたが主役ふるさとの味」が始まります。これは、地元の皆さんが主役となり、開催地における食育活動、食文化、旬の食材や料理法などを紹介する“食”をメインとしたコーナーです。さらに、これまでメニューとして行われてきました「名医からのメッセージ」、「健康エッセー」の催しにつきましても“食”の視点を加味した取組に変わります。

入場は無料です。会場内フロアにおいても食にまつわる展示が多数行われますので、お近くの方はぜひご家族でご来場下さい。また、NHK総合「生活ほっとモーニング」での放映も、ぜひお楽しみ下さい。

1. 食育・健康フェア in 阿見

日時：4月10日(日) 9:30～15:00

場所：茨城県稲敷郡阿見町 茨城県立医療大学体育館

出演： あなたが主役ふるさとの味

管理栄養士 本多京子、タレント テツandトモ

名医からのメッセージ（糖尿病予備軍からの生活改善）

東京医科大学主任教授 小田原雅人

健康エッセー

俳優 石原良純

放映予定：4月27日(水) 8:35～10:00

NHK総合「生活ほっとモーニング 健康スペシャル」

2. 食育・健康フェア in 丸岡

日時：4月24日(日) 9:30～15:00

場所：福井県坂井郡丸岡町

出演： あなたが主役ふるさとの味

料理研究家 平野レミさん、タレント テツandトモ

名医からのメッセージ（食べ物・食べ方で防ぐがん）

国立がんセンター予防研究部長 津金昌一郎

健康エッセー

落語家 林家木久蔵

放映予定：5月26日(木) 8:35～10:00

NHK総合「生活ほっとモーニング 健康スペシャル」

4月の「消費者の部屋特別展示」(農林水産省内)のご案内

農林水産省では、「消費者の部屋」において、消費者の皆様には農林水産行政、食料、食生活等についての理解を深めていただくことを目的とした特別展示を開催しています。4月は下記の展示を催しておりますので、ぜひお立ち寄り下さい。

詳しくは農林水産省ホームページ

<http://www.maff.go.jp/soshiki/syokuhin/heyah/HEYA.html>をご覧ください。

【4月の特別展示】

進め！「バイオマス・ニッポン」(4月11日～4月15日)

ねらい：バイオマスの理解の促進

バイオマスとは、生ゴミやもみがらなど、動植物から生まれた再生可能な資源のことです。これらを有効に活用していくため、「バイオマス・ニッポン総合戦略」が閣議決定されました。全国で広がりつつあるバイオマス利活用の取組等をご紹介します。

高齢者も障害者も食生活を豊かに生きる(4月18日～4月22日)

ねらい：食育の推進

高齢者・障害者が健康で元気に生活するために、自助の第1歩である食生活面での自立支援を「食育」と関連してご紹介します。食生活に関する情報や、食生活環境改善活動、食生活スタイルなどを提案します。

国民参加の森林づくりの週(4月25日～4月28日)

ねらい：体験・交流の推進

私たちにとって大切な役割を果たしてくれる森林。健全な森林を育てるため、身近にもできることがあります！緑の募金を活用した緑化活動、全国のボランティア活動の情報、愛・地球博連携事業等をご紹介します。

特別展示の開室時間は、10:00～17:00です。ただし、展示初日は12:00～17:00、展示最終日は、10:00～13:00です。

詳しくは、消費者の部屋相談室にお問い合わせ下さい。

TEL:03-3591-6529 FAX:03-5512-7651

子ども相談電話：03-5512-1115

4月のごはんSAIJIKI

ごはん和風食材の団体などで構成するごはん食ネットワーク会議では、日本人の四季に対する思いがこめられた‘歳時記’と、日本人の食生活に欠くことのできない‘ごはん’を結びつけた「ごはんSAIJIKI～日本のごはん料理12カ月」を提案しています。

4月のごはんSAIJIKIは、“たけのごはん”です。食卓にたけのこが登場すると、春たけなわ。煮もの、あえものと様々な調理方法がありますが、やわらかな穂先から歯ざわりのよい根元まで、たけのこの味と食感をフルに堪能できるのが炊き込みごはんです。たけのごはん、春を感じてみませんか。

レシピ等については、(社)米穀安定供給確保支援機構ホームページ

<http://www.komenet.jp/saijiki/index.html>をご覧ください。

テレビ番組「小倉智昭・柴田理恵のいまどき！ごはん」絶賛放送中！

農林水産省、(社)米穀安定供給確保支援機構、全国農業協同組合中央会では、お米の消費拡大対策の一環として、『小倉智昭・柴田理恵のいまどき！ごはん』をテレビ朝日系列放送局などで毎週全国放送しています。

毎週様々なゲストを迎え、“My茶碗”を持参してもらい、“My茶碗”にまつわる秘話や、食へのこだわりについて語ってもらいます。また、ごはんのある食生活を入口に様々なテーマをもった100人100様のドキュメントVTRコーナー“一億人の食卓”を放送し、合間にはキャスターやゲストによるテーマに即したトークを展開します。

さらに、高樹千佳子がナビゲートして、専門家の方々がごはんの健康・栄養面における有用性等のごはんに関する様々な情報をワンポイント的に解説する“高樹千佳子のごはんナビ”や、全国各地の郷土色豊かなごはん料理を美しい自然と風景とともに紹介していく“ごはん百景”も放送します。

エンディングには、“ごはん百景”で取材した郷土のごはんのおかずとともに、番組中に炊きあげたごはんを出演者全員でいただきます。

ぜひご家族みなさんでご覧ください。

(出演ゲスト(予定))

(4/3(日)) 勝俣州和

テレビ朝日系列放送局などで毎週全国放送しています。

テレビ朝日系24局以外は放送日が異なります。

(放送局・日時)

放送局名	時間
テレビ朝日系全国ネット全24局 (テレビ朝日・北海道テレビ・青森朝日放送・岩手朝日テレビ・東日本放送・秋田朝日放送・山形テレビ・福島放送・新潟テレビ21・長野朝日放送・静岡朝日テレビ・北陸朝日放送・名古屋テレビ・ABCテレビ・広島ホームテレビ・山口朝日放送・瀬戸内海放送・愛媛朝日テレビ・KBCテレビ・長崎文化放送・熊本朝日放送・大分朝日放送・鹿児島放送・琉球朝日放送)	日曜 18:00～18:30
山梨放送	土曜 12:30～13:00
北日本放送	日曜 17:00～17:30
福井放送	土曜 9:30～10:00
山陰放送	日曜 10:30～11:00
四国放送	土曜 10:00～10:30
高知放送	土曜 10:00～10:30
テレビ宮崎	土曜 10:30～11:00

東海農政局「消費者の部屋」で特別セミナー『知って得する食品表示』を開催
(4月12日、18日)

東海農政局「消費者の部屋」では、4月11日(月)~28日(木)、「知って得する食品表示」をテーマとしたパネルの展示等を行います。開催期間中の月・木曜日には食品表示の特別相談窓口を開設するほか、12日(火)と18日(月)には特別セミナーを開催します。詳しくは、東海農政局消費・安全部消費生活課(TEL:052-223-4651)まで。

安城市で「うまいじゃん！碧海発「食」と「農」の交流会」を開催(4月16日)

J A あいち中央では、4月16日(土)10:30から、J A あいち中央総合センターにおいて、地産地消の考え方、地域社会における農業の役割など、地域農業が内包する幅広いテーマについて広く認識してもらうために、地域の生産者や消費者、給食、教育、行政や企業、流通関係者を招いて「うまいじゃん！碧海発「食」と「農」の交流会」を開催します。

食育・料理研究家坂本廣子氏の記念講演「地域が主役 - 本物で地産地消をすすめましょう」のほか、地元農産物を使った料理紹介および試食会を行い、意見交換を行います。お問い合わせはJ A あいち中央 農業振興部(TEL:0566-73-4400、FAX:0566-73-4415)まで。

岐阜県高山市で「コープぎふ5周年フェスティバル『まるごと体感！コープぎふ』」を開催(4月3日)

コープぎふ飛騨支所では地域の消費者の方々を対象に、4月3日(日)10:00から、マウントエース(高山市問屋町)において、コープぎふ5周年フェスティバルを開催します。今回のフェスティバルでは、リンゴの皮むきや餅つきなどの楽しい催しや、生産者・メーカーとの交流が行われます。また、食生活指針をテーマとする展示を行うほか、「食べものクイズ」なども行います。お問い合わせはコープぎふ飛騨支所(TEL:057-410120-39-8665)まで。

熊本県菊池市で「養生園祭」開催(4月17日)

熊本県菊池市の公立菊池養生園診療所では、毎年「養生園祭」を開催しています。今年はテーマを「いのちと食」(飢え)と題して下記の催しを計画しています。例年県内外から大勢の方が訪れにぎやかな催しとなっています。この機会に「命と食」について考えてみませんか。

日時：4月17日(日)9:30~

場所：菊池養生園構内一円 熊本県菊池市泗水町吉富2193-1 TEL:0968-38-2820

内容：講演会 講師 甲田光雄氏(日本総合医学界会長)

演題 あなたの小食が、世界を救う

健康相談

養生市(自然食品、野菜、餅、リサイクル品等の展示即売バザー)

特別企画：~やがて食糧危機がやってくる~

「冬のソナタ。飢えの備え大会」

詳細についてはホームページ<http://www.yojoen.or.jp/index2.html>をご覧ください。

2 3月の実績

きのこ料理コンクール第18回全国大会を開催

3月9日(水)、学校法人服部栄養学園服部栄養専門学校において、日本特用林産振興会主催による「きのこ料理コンクール第18回全国大会」が開催されました。15県の代表により、きのこ料理が実演され、堀江泰子料理研究家外5名の審査員による試食審査を経て、長野県の山崎要子さんの「エリンギの香り巻き」、熊本県の西明子さんの「しいたけのカリカリスナック」の2点が最優秀賞の林野庁長官賞を受賞しました。これらを含めた15点のきのこ料理のレシピは、日本特用林産振興会会報「特産情報」及びホームページ等に掲載されるなど、きのこの消費拡大に活用されます。

「平成16年度農林水産情報交流モニター等交流会」を開催(3月24日)

北海道統計・情報事務所では、3月24日(木)、札幌第一合同庁舎において、生産者、流通加工業者、消費者の方々に積極的な情報提供と相互の情報交流の促進による農林水産業の振興や地域の活性化を目的とした「平成16年度農林水産情報交流モニター等交流会」を26名の参加を得て開催しました。今回のテーマは「食の安全・安心に関する取り組み」などで活発な意見交換が行われました。

北海道で小学生向け食育読本「いただきます！ほっかいどう」を作成

(3月24日)

北海道では、将来を担う子供たちに「食」や「農」に関心を持ってもらうため、この度、小学生向け食育読本「いただきます！ほっかいどう～北海道の食べものと農業のはなし～」を作成しました。食べ物の旬や北海道農業の概要、食と環境の関係などについて子供たちにもわかりやすく掲載しています。北海道では、当冊子を各小学校や食育推進ボランティアなどに配布し、道内の子供たちへの食育に活用してもらうこととしています。

東北農政局で平成16年度「食育」活動表彰審査会を開催(3月7日)

東北農政局では、東北地域の地域に根ざした多様な「食育」活動の取組みを一層推進するため、積極的な活動を行っている団体又は個人の優良事例の表彰を行う「食育」活動表彰事業を実施しています。

平成16年度の当事業の審査会を3月7日(月)、パレス宮城野(仙台市)において開催し、審査結果を踏まえ、応募総数81点の中から、下記のとおり4分野で「東北農政局長賞」、「東北農政局長食育奨励賞」の各賞を授与することに決定しました。

記

1 食生活改善分野

東北農政局長賞	鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま 障害生活支援センター(山形県鶴岡市)
東北農政局長食育奨励賞	リバースファイブ(仙台市)

2 教育分野

東北農政局長賞	青森県立柏木農業高等学校(青森県南津軽郡平賀町)
東北農政局長食育奨励賞	三沢市立根井小学校(青森県三沢市)
〃	弘前市立自得小学校(青森県弘前市)
〃	奥平大和(宮城県黒川郡大郷町立粕川小学校教諭)

3 食品産業分野

東北農政局長賞	(社)全日本司厨士協会関東総合地方本部福島県本部(福島県耶麻郡猪苗代町)
---------	--------------------------------------

4 農林漁業分野

東北農政局長賞	青森県農業協同組合中央会(青森市)
東北農政局長食育奨励賞	ポラン農業小学校(盛岡市)

平成16年度東北ブロック食料品消費モニター懇談会を開催(3月9日~10日)

東北農政局では、3月9日(水)、KKRホテル仙台2F「磐梯」において、平成16年度東北ブロック食料品消費モニター懇談会を開催しました。

懇談会では、食料品消費モニター(東北ブロックからの代表12名)、生産者、行政との間で、食の安全・安心及び食品表示についてと「消費者と生産者等との顔の見える関係づくり」について意見交換を行いました。

翌3月10日(木)は、宮城県名取市の施設園芸農家にて、現地研修会を行いました。

八戸市で「三八地方食の安全・安心等に関する懇談会」を開催(3月11日)

青森農政事務所地域第二課では、3月11日(金)、八戸庁舎会議室において、「食の安全・安心」及び「食育」等に関する情報の提供や意見交換を行うことを目的とした「三八食の安全・安心等に関する懇談会」を開催しました。

当日は、地域内の生産・流通・消費者団体等と食の安全・安心、食育の推進について意見交換を行いました。

弘前市で「顔の見える関係づくり・食を考える懇談会」を開催（3月15日）

青森農政事務所地域第一課では、3月15日(火)、弘前市民会館(第一小会議室)において「顔の見える関係づくり・食を考える懇談会」を開催しました。

当日は地元青果卸業者の弘果総合研究開発株式会社の工藤秀樹氏からトレーサビリティについて講演があるほか、参加者を交えた意見交換を行いました。

宮城県古川市で「第3回食の安全・安心ミニ懇談会」を開催（3月16日）

東北農政局地域第二課では、3月16日(水)、みやぎ生協古川南店において、「第3回食の安全・安心ミニ懇談会」を開催しました。

当日は、みやぎ生協のメンバーの方に参加していただき、生鮮食品・加工食品を中心として「食品の表示について」の説明を行った後、意見交換会を行いました。

福島市で「第2回食の安全・安心に関する意見交換会」を開催（3月17日）

福島農政事務所では、消費者の視点に立った農林水産行政の展開のため、「第2回食の安全・安心に関する意見交換会」を、3月17日(木)、福島市市民会館で、「最近の食を巡る情勢」、「食品表示の見方(加工食品の原産地表示)」、「適正表示関係について」の説明後、一般消費者等と意見交換を行いました。

東北農政局で東北地域食育推進協議会第2回義務教育部会を開催（3月17日）

東北農政局では、3月17日(木)、パレス宮城野(千代の間)において、東北地域食育推進協議会第2回義務教育部会を開催しました。

部会では、学校給食における食育の課題と対応等の検討を行いました。

東北農政局で第3回東北地域食の安全・安心推進連絡会議を開催（3月24日）

東北農政局では、3月24日(木)、ハーネル仙台蔵王Aにおいて、第3回東北地域食の安全・安心推進連絡会議を開催しました。

当日は、「東北地域食の安全・安心推進連絡会議報告書(案) - 東北地域におけるリスクコミュニケーションの現状と課題 - 」及び「各団体等の平成16年度の取組及び平成17年度の取組予定について」等の検討を行いました。

また、行政からBSEを巡る情勢等の情報提供を行いました。

東北農政局で第4回「食の安全・安心に関する意見交換会」を開催（3月29日）

東北農政局では、3月29日(火)、仙台合同庁舎6F会議室において、第4回「食の安全・安心に関する意見交換会」を開催しました。

当日は、食品表示の見方について(遺伝子組換え食品表示)、一般消費者等と意見交換を行いました。

東北農政局で第4回東北地域食育推進協議会を開催(3月30日)

東北農政局では、3月30日(水)、パレス宮城野(千代の間)において、第4回東北地域食育推進協議会を開催しました。

当日は、「東北地域における食育推進に係る基本方針(案)」の検討を行いました。

関東農政局で関東地域食育推進協議会を開催(3月7日)

関東農政局では、3月7日(月)、さいたま新都心合同庁舎において関東地域における食育の推進について検討を行うため、消費者、生産者、栄養士、食品産業、教育、マスコミ関係者、学識経験者等の委員により構成する関東地域食育推進協議会を開催しました。

委員からは、「意欲や関心を高めることが大事」、「食育推進ネットワーク構築の次のステップとして、地域で自主グループの取組みが広がっていくような支援が必要」、「学校給食における地産地消の取組みは、生産者と消費者が顔の見えるつながりの面からも重要」等の意見が出されました。

水戸市で「食の栄養と食育を考えるフォーラム」を開催(3月14日)

茨城農政事務所では、3月14日(月)、茨城県学校給食会において、食の栄養と安全を家庭や学校でどう子どもたちに伝えていくかの方策をみんなで考えるためのフォーラムを県内の栄養士、学校給食関係者らを対象に開催しました。

女子栄養大学の香川芳子学長からは、「実践してこそその食育 - スタートする栄養教諭制度 - 」と題し、「脂肪の摂取過多など日本人の食生活の変化から生活習慣病が増加している。幼いときから何を食べるべきか教育することが必要」等、17年4月から導入される栄養教諭制度を活用した食育の重要性を内容とする基調講演を頂きました。

また、萩田農政事務所長のコ・ディネ - トのもと、「食育の進め方」をテーマに実施した香川学長と川上美智子茨城キリスト教大学教授との対談では、「朝食の欠食対策として料理の習慣づけが必要」、「食を通じた手伝いは労働観も養える」、「生産地であることを生かした茨城独自の食育を考えたい」等の意見が交わされました。(参加者：約120名)

栃木県で「第2回栃木県食育推進協議会」を開催(3月14日)

栃木県では、3月14日(月)、宇都宮市内において、「第2回栃木県食育推進協議会」を開催しました。

同協議会では、栃木県における16年度の食育の推進状況と17年度の推進計画について説明した後、栃木農政事務所を含む構成団体から取組事例の紹介を行い、食育推進に関する意見交換を行いました。

群馬農政事務所市民講座を開催(3月2日)

群馬農政事務所が事務局を務める群馬地域食育推進ネットワークは、3月2日(水)、肥満、高血圧症、糖尿病などの生活習慣病に対処するための市民講座を前橋市内で開催し、一般消費者等80名が参加しました。

当日は、ネットワーク会員でもある仲眞美子氏(社)伊勢崎佐波医師会病院成人病検診センター長)から、専門的な見地から「食物繊維を見直そう」と題した講演をいただき、「正しい食生活を送ることで、病気の出現を10年遅らせることができる」、「食物繊維は、自然の食品から食べないと思うような働きをしてくれない」、「すっぱいものや苦くても体に良いものがあり、それを昔から食べてきたことを教えないと野菜嫌いになる」等の興味深い話を聞くことができました。

群馬県で「^{かたるべ}食品安全語部の会」を開催（3月17日）

群馬県食品安全会議が定期的を開催する「第10回食品安全語部(かたるべ)の会」が3月17日(木)、前橋市で開催され、一般参加者、生産者等200名が参加しました。

今回のテーマは「食品安全行政最前線」で、県が新たに策定する「群馬県食品安全基本計画」と、相次いで刊行される「くらしに役立つ食品表示ハンドブック」「消費者のための農薬読本」についての説明が行われ、その後、3分科会に分かれ意見交換を行いました。

群馬県食品安全基本計画は、県で施行された「群馬県食品安全基本条例」に基づき、県民が漠然と食の安全に不安を抱いているという現状認識から、食に対する信頼の向上を目指すための当面の方向性を示したものです。食育の推進も重要事項となっており、行政からは情報提供をさらに充実させ、県民の自主的な食育活動への参加を求めています。また、発行される2種類の冊子は、解りやすい情報源の提供のために企画・刊行されました。

埼玉県行田市で「移動お米インフォメーションプラザ」を開催（3月13日）

関東農政局消費・安全部地域第三課では、3月13日(日)、JAほくさい行田中央支店で開催された第26回行田市農業祭において、ごはん食推進・食育の推進等に関するパネル展示とパンフレットの配付を内容とした「移動お米インフォメーションプラザ」を開催しました。

当日は、地産地消を含めた米の消費拡大と食生活指針を中心とした食育についての普及・啓発を行いました。また、来場者にデジカメで撮影した本人の写真入りカレンダーを作成・配布し、大変な賑わいでした。

千葉農政事務所で「米粉普及推進に向けた講演及び懇談会」を開催（3月15日）

千葉農政事務所では、3月15日(火)、千葉市ぱるるプラザにおいて、「米粉普及推進に向けた講演及び懇談会」を開催しました。

当日は、近畿米粉食品普及推進協議会副会長・瀧尾佳明氏による「近畿における米粉食品・普及の歩み」の講演、地産地消による先進的な米粉利用の報告及び懇談会が行われました。

千葉農政事務所で「消費者懇談会」を開催（3月16日）

千葉農政事務所では、3月16日(水)、「農政、食の安全・安心」をテーマに消費者団体との懇談会を開催しました。

当日は、食品表示についての説明を行った後、今後の消費者行政の一助とするため、農政、食の安全・安心に関する意見交換を行い、参加者から多数の意見、質問等が出されました。

お米ギャラリー銀座で春休み「お米教室」に参加（3月29、30日）

東京農政事務所では、お米ギャラリー銀座で行なわれた「お米教室」に講師として参加しました。当日は小学生を中心に多数の親子が参加し、お米作りの話や米の重要性を伝えました。また、わら工芸品を作る体験講座も行い、春休み期間中の子供たちの良い「お米教室」の場となりました。

山梨農政事務所「親子料理教室」を開催（3月12日）

山梨農政事務所では、3月12日（土）、甲府市中央公民館において、「親子でチャレンジ！ 麺うちからのほうとう作り～山梨のおいしさ再発見！！～」を開催しました。

当日は、山梨県栄養士会から講師をお招きし、「元気な子どもを育てる食生活」と題した講話と地元食材を使用した麺うちからのほうとう作りを行いました。

参加者からは、「普段何気なく摂っている食事バランスが大切」「麺からほうとうを作ったことがなかったので、とても楽しかった」などの感想があり、親子が揃って食を考えた一日になりました。

長野農政事務所「食卓から生産地まで顔の見える関係づくりシンポジウム」を開催（3月3日）

長野農政事務所は、3月3日（金）消費者を中心とした約150名の参加による「食卓から生産地まで顔の見える関係づくりシンポジウム」を長野市内で開催しました。シンポジウムでは「次世代につなげよう お互いに信頼・協力できる「食」環境づくり」をテーマに、食と農の応援団員で地産地消や自給運動に取り組んでいる細井千重子さんによる基調講演と、生産から食卓まで様々な分野で食に携わる方々をパネリストに迎えたパネルディスカッションを実施しました。

「ほくりく消費者ネット」による意見交換会を開催（3月2日）

北陸農政局では、3月2日（水）、福井県民会館205号室において、福井県の消費者団体等と「食」や「農」に関する意見交換会を開催しました。

「食と農を考えるシンポジウム」を開催（3月5日）

アグリフォーラムいしかわでは、3月5日（土）、石川県農業会館6階大会議室において、「食」の役割・大切さを理解するとともに、次世代層を中心とした食に関する教育「食育」への取り組みを推進することを目的に関係機関との共催により、シンポジウムを開催しました。

ごはんを中心とした「日本型食生活」を推進する後援会を開催（3月16日）

北陸農政局では、3月16日（水）、北陸農政局（金沢広坂合同庁舎1階大会議室）において、フーズ&ヘルス研究所主宰管理栄養士で、学校給食と子どもの健康を考える会代表の幕内秀夫氏を迎え「子どもの体とごはんの好い関係」と題した講演会を開催しました。

「北陸地域食育推進協議会」を開催（3月29日）

北陸農政局では、3月29日（火）、石川県文教会館4階大会議室において、北陸地域食育推進協議会を開催し、北陸地域の特性を踏まえた食育の具体的な方策等について検討しました。

岐阜農政事務所「食育地域座談会」を開催（3月1日～）

岐阜農政事務所では、地域に根ざした食育の推進、消費者と産地の顔のみえる関係づくりの推進を目的として、岐阜農政事務所、各地域課、東濃分室の県内5ヶ所で「食育地域座談会」を開催しました。

「食育地域座談会」の開催は、今年で2年目ですが、毎年貴重なご意見をいただき、岐阜農政事務所の食育推進や関係者間のコミュニケーション体制の確立に役立っています。

愛知県豊川市で『食と健康フォーラム』“あなたの「食べる」を考えよう”を開催（3月5日）

みかわ市民生協では、3月5日(土)、豊川勤労福祉会館において『食と健康フォーラム』“あなたの「食べる」を考えよう”を開催しました。

東海地域食育推進協議会座長の岐阜女子大学の小川宣子先生による「食の連続講座（みかわ市民生協主催）」のまとめ、生協の食と健康活動実践報告、メーカー・生産者の交流会などを行いました。

河内長野市で「河内長野市生活情報展」を開催（3月4～5日）

河内長野市消費生活センターでは、地域の実情に即した情報や知識の普及を図るとともに、自ら主体的に対応できる消費者を育成するため、3月4日(金)～5日(土)、河内長野駅前ノバティながのにおいて「暮らしに活かそう たしかな情報」をテーマに河内長野市生活情報展を開催しました。

当日は会場において、大阪農政事務所では「消費者の部屋コーナー」を開設し、食についての相談の受付等を行うとともに、食育かるた大会やわらから紙すき作りなどのイベントも行い好評を得ました。

鳥取県西部地区「食品表示ウォッチャー」研修会を開催（3月1日）

3月1日(火)、西部福祉保健局米子保健所において、「食品表示ウォッチャー」を対象とした研修会が行なわれました。

当日は、保健所よりウォッチャーの指摘事項に対する指導事項の説明の後、鳥取農政事務所地域第一課担当者より、牛肉や食品に対するトレーサビリティについて必要となった背景や現状、また米子市内の食品流通業者による野菜トレサビリティの取組みと、ユビキタス社会について説明を行いました。

松江市で「島根食育推進協議会」を開催（3月17日）

島根食育推進協議会(事務局：島根農政事務所消費生活課)では、3月17日(木)、松江地方合同庁舎において、「平成16年度第2回島根食育推進協議会」を開催しました。

会議では、今年度の活動報告や来年度の行動計画について審議を行い、承認されました。また、新たに3団体の加入について承認され、来年度は36団体・個人で活動を行うこととなりました。

出雲市で「島根県栄養士会行政栄養士協議会研修会」を開催（3月19日）

島根県栄養士会行政栄養士協議会では、3月19日(土)、ビッグハート出雲において、研修会を開催しました。当日は、「食育の取り組み～他部所との連携をどう図るか～」というテーマについて、島根県農林水産部及び中国四国農政局島根農政事務所の担当者からそれぞれの食育に関する取り組みを聞いた後、意見交換を行いました。参加者は、食育の推進における連携の重要性を再確認しました。

高松公民館で「食と環境フェア」を開催（3月27日）

岡山市立高松公民館では、高松地区の食育や環境保護などの様々な活動を地域住民に発表し、地域住民が一体となった健康な町造りを目指すことを目的として、「食と環境フェア」を下記のとおり開催しました。

記

開催日時：3月27日(日) 11:00～14:00

開催場所：岡山市立高松公民館（岡山市津寺104）

内 容：健康、食育、環境保護などに関する展示コーナー
健康相談・健康チェックコーナー
地域産物の販売コーナー
ミニウォーキング大会 等

広島県三次市で「学校給食シンポジウム」を開催（3月15日）

広島県備北地域事務所，広島県立大学生物資源学部生物資源管理学科，三次市では、3月15日(火)、三次市福祉保健センター(4階)ふれあいホールにおいて、「学校給食シンポジウム～地元産食材供給と食育を考える～」を開催しました。

当日は、生産者、給食関係者ら約80名が参加し、地域課題共同研究「三次市の新たな学校給食システム構築に向けて」の成果発表とともに、三次市の地元産野菜を使った給食「ふるさとランチ」の関係者と、食育に現場で携わっていらっしゃる方々をお招きし、地域の実情に合った地元産食材供給と食育はどうあるべきか、参加者の皆さまと意見交換を行いました。

なお、研究成果報告書は広島県自治総合研修センターのホームページに掲載しています。(<http://www.pref.hiroshima.jp/soumu/kikou/kenkyu/index.html>)

山口県で米粉パン作り講習会を開催（3月15日）

日置地域食育実践活動推進協議会、長門地域地産・地消推進委員会、山口県立日置農業高等学校では、3月15日(火)、「食育推進に関する講習会」において、地元産の米を使った米粉パン作りの講習会を開催しました。

当日は、山口県日置農林事務所で平成16年度食育推進ボランティア登録証の授与が行われた後、山口県立日置農業高等学校食品加工室において米粉パン作りの講習会が開かれました。

講師に近畿米粉食品普及協議会会員を迎え、参加者は、地元産のお米が原料の米粉で作ったパン生地の感触を確かめるように、米粉パンを焼いていました。参加者からは、米粉の入手方法についての問い合わせがたくさん寄せられました。

山口市で学校給食の地産地消研修会開催(3月8日)

山口市経済部農業振興課、山口市教育委員会では、3月8日(火)、山口市において、農業者や学校栄養士を対象に、「学校給食における地産地消研修会」を開催しました。

研修会では、(社)地域社会計画センター客員研究員・根岸久子氏による「地産地消型学校給食の今日的意義」と題した講演があり、根岸氏の学校給食が食生活に及ぼす影響に関する26年間にわたる調査結果から、食を巡る状況の変化や学校給食に対する保護者の期待の増加についての話がありました。

さらに、「地産地消型学校給食として『顔の見える食材』は、作ってくれた人への関心や感謝、知識だけでなく、感動(心)を生む力がある」こと、また、「地産地消型の学校給食を進めるためには、まずは話し合いの場作りから、そして、できることからはじめ、『小さく生んで大きく育てる』気持ちが必要」などのアドバイスを頂きました。

徳島農政事務所が「食育推進意見交換会」を開催（3月1日）

徳島農政事務所では、徳島県における今後の進むべき食育の方向性や連携について協議するため、3月1日(火)、徳島市「ふれあい健康館」において、「徳島食育推進意見交換会」を開催しました。

始めに、香川県国分寺町立国分寺中学校長・竹下和男氏から、「“弁当の日”がやってきた」と題して基調講演をいただき、この取組を通して成長していく子どもたちの様子が参加者に伝えられました。

その後、消費者団体、生産者団体、PTA、教育委員会、学識経験者、関係行政機関等の代表53名が参加し、徳島県内の「食育」を効果的かつ円滑に進めるためのPR方法や連携方法について、意見交換を行いました。今回は主に小学校での「食育」がメインテーマとなりましたが、今後も、あらゆる段階に焦点をあて、意見交換を実施していくこととしています。

高松市で「地域の食材を使った料理教室」を開催（3月5日）

香川農政事務所では、生産者と消費者の交流を図り、ごはんを中心とした食生活及び香川県産野菜の地産地消の啓発のため、3月5日(土)10:00～13:30、香川県社会福祉総合センター(高松市番町)において、「地域の食材を使った料理教室」を開催しました。

当日は、一般募集の消費者27人と生産者を代表して生活研究グループの6人が、今が旬のレタスや菜花、アスパラガスなどの香川県産野菜と銘柄豚肉(讃岐夢豚)を使った料理に取り組みました。指導にあたったキッス調理技術専門学校・吉岡淳次技術部長は、「地産地消とは旬(の物)を食べること、消費者の考えを変えていただくと地産地消も進む」「家族がそろって食事をとることが食育につながる」と呼び掛けました。

参加者からは「生産者の顔が見えてよかった」「今後も、消費者との繋がりが持てる場を提供して欲しい」等の意見が寄せられました。

高知農政事務所市民講座を開催（3月9日）

高知農政事務所では、国民の皆様が「食の安全・安心」や「食生活」に関する知識を学び、考え、健康な生活を送れるよう、3月9日(水)、土佐山田町保健センター会議室において、市民講座を開催しました。

当日は、元(財)高知県ふくし交流財団研修相談課長の宮田^{みやた}福^{ふく}氏を講師にお迎えし、「お口のはたらき達人ですか～若々しくいつまでも健康に～」と題して、食生活の現状や問題点等について、わかりやすく楽しいお話を頂きました。

平成16年度第2回九州地域食育推進協議会を開催（3月17日）

九州農政局では、3月17日(木)、平成16年度第2回食育推進協議会を開催しました。今回は会場を熊本県泗水町の菊池養生園で行い、協議会の委員である竹熊宜孝菊池養生園名誉園長が日頃から実践されている食育推進の取り組みを見学し、その後平成16年度の総括と平成17年度の活動方針について検討されました。

熊本市で「トレーサビリティに関する意見交換会」を開催（3月9日）

消費者、生産者、食品事業者等異なる立場の方々とトレーサビリティのあり方、考え方などについて意見交換を行いました。生産者や流通事業者の意見や消費者の意見を交換することによりお互いの理解が深まりました。

佐賀市で食品安全シンポジウムを開催（3月19日）

佐賀県小城市で「食の安全安心を考える」をテーマとして食品安全シンポジウムが開催されました。

パネルディスカッションでは、農薬と食品表示をテーマに意見交換が行われ、生産から消費まで各段階で安全・安心の取り組みを進めていくことの重要性などが確認されました。

3 食に関する諸調査・データ・トピック

100%近くが食育必要～共同通信「だんだんたんぼ」アンケートより～
(詳細は<http://www1.ii-research.com/ii/tanbo/page1.jsp>をご覧ください。)

1. 調査の概要

共同通信社は、同社ホームページの農業支援サイト「だんだんたんぼ」において、平成17年1月18日(火)～2月20日(日)の期間にアンケートを実施し、5,772人(男性2,532人、女性3,240人)が回答した。

2. 調査結果

- (1) 安全性や健康面などから「食」の在り方が問われている中、食育の必要性について聞いたところ、47.9%が「とてもそう思う」、51.6%が「そう思う」と回答、肯定的に考えている人は99.5%に達した。
- (2) 食育を始める年代では「幼児から」が60.2%でトップ。「小学生から」が25.0%、「年代層を問わずあらゆる機会をとらえて」としたのが12.6%だった。
- (3) 食育を担う組織については76.7%が「家庭」を挙げ、13.3%が「学校」、4.0%が「自治体」、3.2%が「国」とした。食育を普及させるために行政などの積極的な支援が必要とした人は89.8%だった。
- (4) また、91.1%が日本人の食生活が乱れていると回答した。